



12月の園だより

平成 29 年 12 月 1 日
ひまわりキッズルーム大泉

カレンダーがあと1枚になり、慌しいけれど楽しい季節がやって来ました。

保育園では、年末の雰囲気味わいながら、大掃除など新年を迎える準備も取り入れて、季節を実感できるようにしたいと思います。ご家庭でも、この季節ならではの経験を親子で一緒に出来ると良いですね。

また、インフルエンザや胃腸炎を起こすウィルス感染症対策のためにも、うがいと手洗いを励行し、元気に新年を迎えましょう。

12月の予定

12日 身体測定(0歳児)	13日 身体測定(1歳児)	14日 身体測定(2歳児)
14日 0歳健診	15日 うさぎグループ保護者会(詳細はお便りにてお知らせします)	
22日 クリスマス		
* 中旬 避難訓練	* 29日~1月3日 年末年始休み	
* 下旬 お餅つき体験 (ぞうグループ:ひまわりキッズガーデン小茂根へ)		

保護者会

11月17日にひよこグループの保護者会を行いました。保育園での様子から子ども達の成長を感じていただけたと思います。また、それぞれのご家庭での悩みもお互いにお話ししたことでヒントを得られたりしたことでしょう。今後とも保育園とご家庭で子育ての協働をしまいにしましょう。

12月にはうさぎグループの保護者会が予定されています。ご参加お待ちしております。



クリスマス

22日(金)は保育園のクリスマスです。
特別な献立も用意して、楽しく過ごせるように
計画中です。

餅つき

ぞうグループがひまわりキッズガーデン小茂根に行き、交流しながら餅つきを体験します。集合時間などはクラスより詳しくお知らせ致します。



1月の予定

10日 身体測定(0歳児)	11日 身体測定(1歳児)	12日 身体測定(2歳児~)
19日 ぞうグループ保護者会	*中旬 避難訓練	

～ひよこグループ～

公園では、落ち葉や木の実などの身近な物に関心を持ち、指先で引っ張るようにしてちぎったり、摘み上げて大切そうに握り締めています。木の実の感触や、葉っぱの柔らかさなどをいろいろ試して楽しんでます。歩ける児が増え、砂場や芝生のぼこぼこした所を歩いたりする中で歩行が少しずつ安定してきました。長い距離を歩ける4～7月生まれの児は15分～20分かけて保育者と手を繋ぎ近くの公園まで歩いて出掛けています。バギーに乗っている8月～11月生まれの子ども達は、電車や車、花など周囲の物を見つける度に“あった！”と言わんばかりに「あー」「おー」など声を挙げ、気持ちを声に出して表現する姿が増えています。

<12月のねらい>

- ・見る、触れる、探索するなど身近な環境に自分から関わろうとする。
- ・タオルやエプロンなど身の回りのものに親しみ、興味や関心をもつ。



～うさぎ・ぞうグループ～

うさぎグループは、「散歩にいこう」と声をかけると、自分で身支度を始める姿が増えました。指先の力が増し、自分で靴下の口を広げて足先を入れたり、ジャンパーのチャックを上げようとしています。支度が済むと「できた」と得意気な表情で話し、自分で出来たという喜びや自信が意欲に繋がっているのが感じられます。

ぞうグループは簡単な決まりごとやルールを理解し、鬼ごっこやかくれんぼを楽しんでいます。友達とのやり取りも増え、「かくれるから、〇〇くんかぞえて。」と自分達で役割を決めたり、「見つからないようにかくれようね。」と体を寄せ合い息を潜めるように隠れていました。友達と一緒に遊ぶ喜びや楽しさを感じている様子でした。また、散歩から帰った後は食事前後の手洗いに意欲的に取り組んでいます。以前は、掌に出した泡をこすらずに流す姿が多く見られましたが、前回の園だよりを書いてあったように手洗いの理由を伝え、保育者も一緒に手洗いする中で手を擦って洗う児が増えました。現在では水道脇に貼ってある手洗いの写真を見ながら、指の間や手首まで細かく洗っています。

<12月のねらい>

うさぎグループ

- 安心できる環境の中で生活・遊びをする。
- 全身を十分に動かして遊ぶ。

ぞうグループ

- 生活の流れが分かるようになり、身の回りのことを自分でしようとする。
- 保育者や友達との関わりを深め、様々な遊びを一緒に楽しむ。
- 身近な物を使って、ごっこ遊びを楽しむ。



しっかりと咀嚼ができると・・・

- ① 食べ物の消化・吸収によい
- ② むし歯・歯周病予防ができる
- ③ がんや老化を予防する
- ④ 脳を刺激、活性化する
- ⑤ ストレス解消と肥満防止に繋がる。
- ⑥ 強いあごをつくる…etc

良いことがたくさんあります！

1.2.3.4...



～^{そしゃく}咀嚼の大切さ～

正しい咀嚼を身に付けるには？

① ゆっくり少しずつ食べさせる

離乳食期：スプーンに一口程度を載せてあげましょう。

そして、次にあげるのは、口の中の物が無くなってからにしましょう。

ゆっくり、少しずつが基本です。

② 大人が見本となる 「モグモグ」「カミカミ」と声をかけながら、口を動かして

見せてあげましょう。

③ かぶりつく：少し大きめの食材を提供し、「あむ」とかぶりつけるように

しましょう。口に詰め込むのではなく、噛み切る事が出来るようにしましょう。